

一般質問補助資料

2017. 12. 7

かとう けいこ

D1 施策の進捗と方向性 (各課長記入)

流山市ホームページより引用

指標名		単位	取得方法	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成31年度
1	自主防災組織の組織率	%	業務取得	目標値	68.0	68.5	69.0	70.0
				実績値	62.8	62.7		
【算出式】 組織世帯数 ÷ 全世帯数 × 100								
	目標値の達成状況	左記の理由・背景	組織数は2団体増加しているものの、人口増による全体の世帯数の増加により実績値が減少しています。					
	達成できなかった							

目標達成のために改善すべき点

全体の世帯数に対する実績値をあげるためには、新しく転入されてきた方への働きかけが必要である。

特にマンションの管理組合に自治会への加入を呼びかけ、加入してくれた管理組合には自主防災組織の立ち上げについてを出前説明にいくように努める。

各部局長の指標達成状況

資料2

平成28年度最終報告ベース

部局名	総務	総合政策	財政	市民生活	健康福祉	子ども家庭	経済振興	環境	都市計画	都市整備	土木	会計監査	上下水道	議会事務局	農業	選挙管理	学校教育	生涯学習	監査事務局	消防	市長
達成数	1	4	0	4	4	0	3	2	4	2	2	0	4	0	0	0	0	4	0	0	34
指標数	2	8	0	9	16	3	15	7	7	7	6	0	7	0	0	0	2	10	0	2	101
達成率	50%	50%		44%	25%	0%	20%	28%	57%	28%	33%		57%				0%	40%		0%	33%

E 「流山市行財政改革・改善(カイゼン)プラン」の取組内容 (各課長記入)

資料3

【プランに該当する指標一覧】

流山市ホームページより引用

該当する項目にチェックを入れ、下記フォーマットを入力願います。

改革・改善項目	チェック欄
1. 歳入確保・歳出削減に係る改革・改善	
(1) 税、保険料、負担金等の設定・収納に係る改革・改善	○
(2) 税外収入の拡充	○
(3) 健全な財政運営の維持	
(4) 公有財産の有効活用	
2. 市民及び市民団体との連携・協働の推進	
(1) 行政情報の発信充実	○
(2) アウトソーシングの推進	
(3) 産学官の連携	○
(4) 協働・連携事業の拡大充実	○
3. 事業の改革・改善、業務改善、職場改善	
(1) 事業の改革・改善(カイゼン)	
(2) 業務改善(カイゼン)	○
(3) 職場改善(カイゼン)	○
(4) 職員の育成	○

資料4

流山市ホームページより引用

施策内容	
1	大項目
	1. 歳入確保・歳出削減に係る改革・改善
	小項目
	(1) 税、保険料、負担金等の設定・収納に係る改革・改善
	取組
	国民健康保険料については、東京電力福島第一原子力発電所事故により、避難指示区域等からの転入者に対し、平成28年度においても引き続き保険料を免除します。(国保年金課)
	中間報告
	9月末現在において、3世帯の申請があります。
	最終報告
	平成28年度については3世帯の申請がありました。

資料5

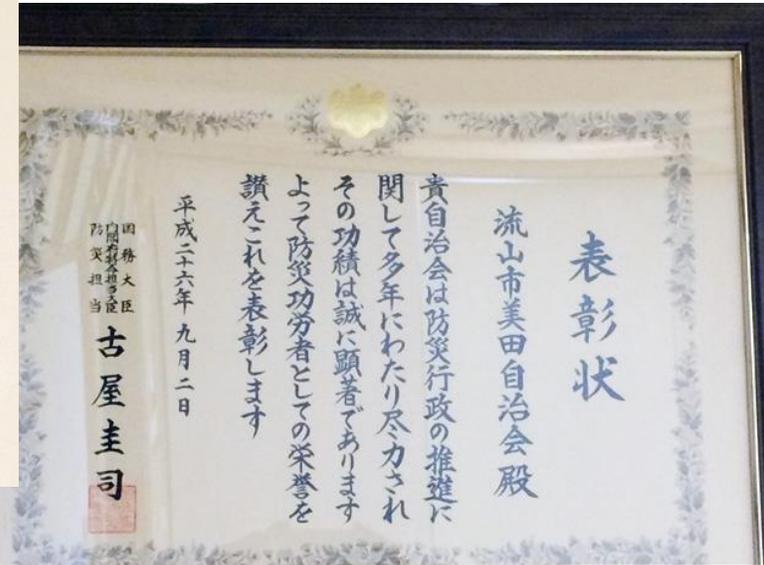
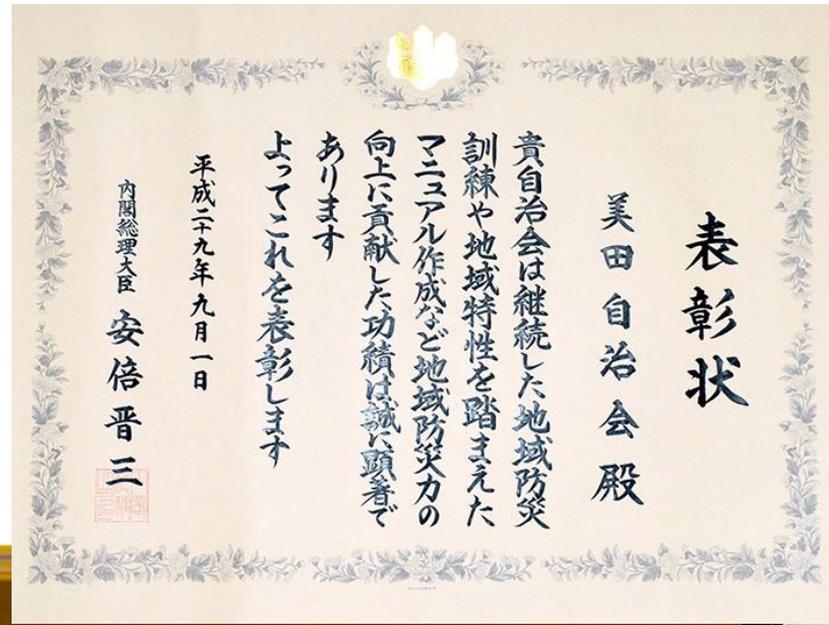
流山市ホームページより引用

施策内容	
1	大項目
	1. 歳入確保・歳出削減に係る改革・改善
	小項目
	(3) 健全な財政運営の維持
	取組
	時間外勤務、コピー等の抑制に努めます。 費用対効果を常に意識し、不要不急な予算執行を抑制します。
	中間報告
	極力両面印刷をし、コピーの抑制に努めています。
	最終報告
	極力両面印刷をし、コピーの抑制に努めました。

美田自治会

- 発災対応型防災訓練
- 隣接市との共同防災訓練

美田自治会のホームページから引用



祝

「平成29年度防災功勞者内閣総理大臣表彰」を受賞致しました



時刻	本部指示事項	時刻
10:05	自主防災本部設置	
10:10	総点検	
10:11	避難誘導・健康者・要配慮者	
10:12	要配慮者から一枚誘行外確保	
10:15	避難者数確認	
10:20	避難者状況報告	
10:22	MCA無線連絡	
10:25	防災備品受取	
10:30	総点検	
10:35	水消火器訓練	
11:00	来賓紹介	
11:10	全体総括	
11:15	来賓挨拶	
11:35	終了	

H29.合同防災訓練避難状況				
避難者数	避難者数	避難者数	避難者数	総数
31	31	61	561	
12	12		12	
10	10		10	
計	51	31	41	583
非常時出発数	583			

災害状況	災害発生時	避難者数
	4	
	3	
	3	

MCA無線連絡
備考

NPO法人パートナーシップながれやま

資料7

流山子育てプロジェクト

ママの視点での防災・減災ノートの作成
ママの視点での非常用持ち出し袋の作成
防災キャラバン隊 防災寺子屋

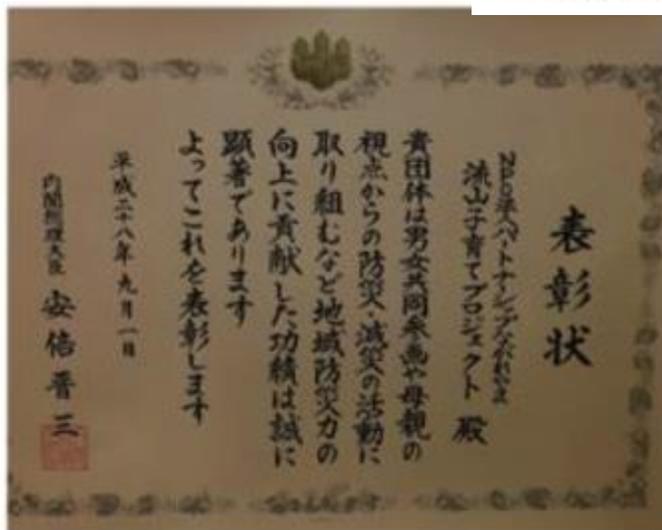
多言語防災ノート



私にもできる 防災・減災ノート IN 流山



自治会の防災ワークショップで防災リュックに入れる中身について紹介



内閣総理大臣賞
消防庁長官賞

NPO法人パートナーシップのホームページより引用

東部地区24自治会連合協議会

資料8 流山市のホームページ等から引用

中学生と高齢者の世代を
超えた
防災訓練
企業に協力を仰いだ防災
訓練

=産学官の
防災訓練

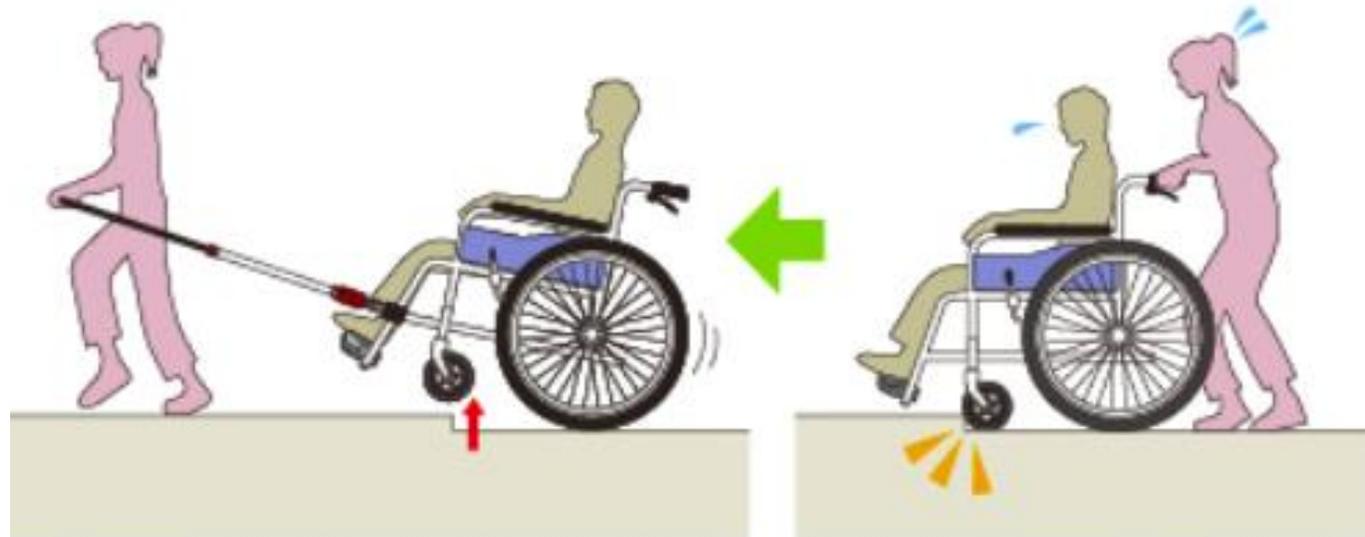


浮かせて引く という新しい発想。

「Jinriki Quick Ⅱ」は、車いすにけん引レバーを装着し、人力車のように「前輪を浮かせて引く」ための補助装置です。坂道・段差・ぬかるみ・がれき等の不整地で車いすを「押して」移動するのは相当の腕力が必要ですが、「Jinriki Quick Ⅱ」を使えば、テコの原理で体重と体全体の力を利用でき、負荷が軽くなりスムーズな移動が可能になります。

災害非難時の緊急移動はもちろん、アウトドアでも活躍し、より心豊かな暮らしをサポートします。

また、特例補装具・日常生活用具として申請可能ですので、自己負担が大幅に軽減できます。



「テコの原理」で楽に前輪が浮き、車いすを前から「引っぱる」ので簡単に段差を通過できる。

たった1cmの段差でも移動が難しい。

災害時の緊急避難に備える。
気軽にレジャーを楽しむ。
介護負担を軽減する。

